

単元（題材）の評価規準を考える

指導目標が達成される**具体的な姿**を考え、学習評価を行うための評価規準を設定します。特別支援学級で、小学校（中学校）の内容を行っている場合は、小学校（中学校）学習指導要領の各教科の目標及び内容を参考に設定します。

評価規準の表記

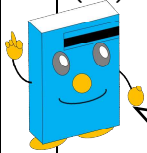
評価規準	文末
知識・技能	～している。
思考・判断・表現	～している。
主体的に学習に取り組む態度	～しようとしている。

※ 各教科の文末表記について、詳しくは「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」でご確認ください。

単元（題材）の目標及び評価規準の設定例

例：算数科 単元名「かぞえめいじんになろう」（さんすう☆☆(1) 文部科学省) **2段階**

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
内容	A 数と計算 (ア)㊦ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。	A 数と計算 (イ)㊦数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。	(2段階の目標) A 数と計算 ウ 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。



内容は学習指導要領に記載しています！

年間指導計画上の単元の目標 →

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	ものの集まりや数詞と対応して数字が理解 <u>できる</u> 。	数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味を持って生かすことができる。	ものの集まりや数詞に関心を持ち、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方のよさを感じながら、興味を持って学 <u>ぼうとする</u> 。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	牛乳やストローの集まり、それぞれの数詞と対応した数字が分かって <u>いる</u> 。	牛乳とストローの関係において、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活の場面に <u>応じて考えている</u> 。	主体的に学習に取り組む態度 牛乳やストローを数える活動において、ものの集まりや数詞に関心を持ち、生活や学習に活 <u>用しようとしている</u> 。

児童生徒の実態を踏まえつつ、単元（題材）の指導方法・内容をおおまかにイメージします。その上で、評価規準は、単元（題材）の最後にどのような姿が見られるかを想像して考えます。目標と評価規準は、単元（題材）を構想しているときに振り返り、適宜修正します。

「学びに向かう力、人間性等」の評価規準を設定する際、観点が「主体的に学習に取り組む態度」に変わる理由については、p. 2-36 を見てください。

